

中学部便り
第4号
平成29年3月6日発行



ふれっしゅ 中学部

発行
徳島県立阿南支援学校
中学部
文責 中尾佳代子

春の訪れが感じられる季節となりました。保護者の皆様には、一年間、中学部の活動にご理解・ご協力をいただき、誠にありがとうございました。振り返ってみますと、本当にあっという間の一年だったように思います。

今年は8名の新入生と1名の転校生を迎え、全学年では男子20名、女子10名、合わせて30名という中学部で活動してきました。1年生は路線バス通学生の割合が例年より多く、長時間乗車など慣れないバスに緊張気味の生徒もいましたが、徐々に体力もついてきて元気に1年間通学できました。中学部は1～3年合同の学習も多いので学年を超えて話をしたり遊んだりすることが多いのですが、やはり2年と3年の先輩は1年生や転校生に優しく接してくれました。朝はラジオ体操の時間になるとほとんどの生徒が広場に集まり、代表の3年生に合わせてみんなでラジオ体操をしました。昼休みの友だちの輪や体育館での遊びにも積極的に参加する生徒が増え、教室で過ごすよりも友だちと一緒に体を動かす子どもが増えてきました。



全校的な行事を振り返りますと、運動会の学部種目「ANAN五輪2016」は二人で力を合わせて二人三脚をし、五輪のマークに花をつけて完成させるリレー形式

の競技でした。はじめは二人三脚がうまくいかず、左右入れ替わったり、ペアを組み直したりしながら工夫し、友だちにスピードや歩幅を合わせることができるようになっていきました。本番ではチームワークのよさと息ぴったりペアを見ていただけだと思います。

学校祭は「ファインディング・ニモ」の劇に全員一丸となって取り組みました。この劇はパペットを動かしながら演じるという珍しい形の劇でしたが、子どもとパペットが一つになっていると感じるほど、子どもたちはパペットを大切にあつかい、一つの台詞、一つの動作に思いを込めていました。また海の学校の仲間たち、サメたち、水槽の仲間たち、ムーンフィッシュ、ジェリーフィッシュ、タートルズ、それとニモ・マーリン・ドリー…それぞれのグループ練習も熱心に繰り返されました。子どもたちは自分の役を大切に思い、役に精一杯向き合っているようでした。当日は欠席者なし、30人全員が心を一つにして演じきりました。



一つにして演じきりました。

卒業式を数日後に迎え、3年生13名を送り出すことの嬉しさと別れの寂しさを感じています。4月にはどこか心細そうな3年生でしたが、この1年、リーダーとして学部を盛り上げ引っ張ってくれました。今はとても自信にあふれており、輝いています。

3年生のみなさん、卒業おめでとう！それぞれの目標に向かって頑張ってくださいね。応援しています！